

一般社団法人 日本神経精神薬理学会
第 62 回理事会議事録

日 時 2016 年 4 月 10 日 (日) 13 : 00 ~ 16 : 00
場 所 コンベンションルーム・AP 品川 会議室「W」
(〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-23 京急第 2 ビル 7F)
出席理事 石郷岡 純、池田和隆、加藤忠史、久住一郎、須原哲也、曾良一郎、武田弘志、中込和幸、
新田淳美、橋本謙二、橋本 均、橋本亮太、古屋敷智之、吉岡充弘
以上、16 名中 14 名出席
欠席理事 山田清文、尾崎紀夫
出席監事 齋藤利和、松田敏夫 以上、2 名中 2 名出席
出席各種委員長 山脇成人、吉尾 隆
欠席各種委員長 内田裕之、渡邊衡一郎

議 長 石郷岡 純

上記のとおり理事の過半数の出席があり、本会議は有効に成立した。

議 案 :

報告事項

1. 前回理事会(第 61 回理事会議事録)、持回り理事会議決事項の確認がなされ、異議なく承認された。
2. 第 46 回年会(第 30 回国際神経精神薬理学会(CINP)と連続開催)準備状況報告(池田大会長)
池田会長から年会概要について報告がされた。
第 46 回年会(第 30 回国際神経精神薬理学会(CINP)と連続開催)
テーマ:産学官連携と国際連携
場 所:COEX、ソウル江南地区
日 時:2016 年 7 月 2 日(土)~3 日(日)
会 長:池田和隆(公益財団法人東京都医学総合研究所)
 - ・参加者については 500 名ほどを見込んでいる。
 - ・Late-breaking 演題を引き続き募集している。
 - ・財政についてもおおむね予定通りとなる見込み。
 - ・単位取得についても準備している。
3. 各種委員会報告
以下、提出資料に基づき、各種委員会報告がされた。
 - a. 執行委員会(石郷岡委員長)
個別の案件が生じればその都度メールにて持ち回り審議することで柔軟に活動していることが報告された。
 - b. 総務委員会(山田委員長欠席より橋本均委員)
審議事項にて検討いただきたい旨報告があった。
 - c. 財務委員会(橋本謙二委員長)
審議事項にて検討されることが報告された。
 - d. 編集委員会(古屋敷委員長)
 - 1) 2015・2016 の刊行状況、投稿状況について報告がされた。

- 2) 編集委員長が中心となり総説を依頼中。また、各編集委員にも引き続き総説（依頼原稿）の提案を依頼している（依頼中は現在3編）。
山脇成人、内田裕之両先生によるご寄稿「向精神薬の新しい命名法(Neuroscience-based Nomenclature)」を短報として受理し、36巻3号（6月号）掲載の予定である。
- e. 広報委員会(橋本亮太委員長)
- 1) 会員メール配信運用マニュアルについて、（配信スケジュールのルール）に第9条、第10条を追加し、緊急の場合のメール配信について、理事、監事、委員会委員長、執行委員会委員、大会長および大会事務局長をメール配信依頼書として、依頼者自身の責任において、臨時のメール配信ができるように改定したことが報告された。
- f. 倫理委員会(尾崎委員長欠席により石郷岡理事長)
- 報告事項は特になし。
- g. 国際学術委員会(山脇委員長)
- 1) ECNP/CINP/AsCNP リーダーシップ会議について、出席した池田委員より報告された。
2015年12月10日に開催され、主にNomenclatureを広めることについて検討された。
 - 2) AsCNP2015について以下の通り開催されたことが報告された。
開催日：2015年11月20日（金）～22日（日）
会場：台北、国際会議場（TICC）
主催：アジア神経精神薬理学会（AsCNP）
年会長：Prof. Tung-Ping Su
事務局長：Dr. Chen-Ta Li
共同開催：WPAIC（11月18-22日@TICC）
 - ・学術賞選考委員会と連携し、JSNP会員の優秀発表者への賞を制定した。
 - ・2017年の第5回大会（インドネシア パリ島）は4月に開催予定である。
 - ・2019年は日本で行われる。
 - 3) AsCNPの2015年度決算、2016年度予算案について資料を元に報告され、健全に運営されていることが報告された。
 - 4) CINP2016について
現地点で早期登録が1200件、ポスター発表が800演題あり、順調に準備が進んでいることが報告された。
 - 5) PPP s タスクフォース会議について、3つのワーキンググループに分かれ、有意義な議論が進められていること、また第46回年会中に発表される予定であることが報告された。
- h. 学術賞選考委員会(吉岡委員長)
- 1) JSNP ソウル大会参加支援について
35歳以下会員の若手研究者へ250ドル48名分、35歳以下学生会員へ100ドル18名分は支援を決定しすでにCINP事務局に送金済みである。
 - 2) 各種賞について
Excellent Presentation Award for CINP 2016は現在選考中。学術奨励賞への応募は現在基礎系1名であり、5月末日の締切に向け、応募が喚起された。
- i. 企画(研究推進)委員会(久住委員長)
- 昨年時より変わりなく、特に報告事項はない。
- j. トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会(石郷岡理事長、中込委員長)
- 1) 2015年9月24日に行われた委員会について以下の通り報告された。
依頼フロー図の確認がなされ、守秘義務については、企業と個人で締結すること、知的財産権は企業が持つとのスタンスを明示する必要があることが確認された。本委員会の活動方針について企業とアカデミアを繋ぎ紹介をすることが確認された。
 - 2) 企業からの相談は、現在2件検討中であるが、今後とも周知する必要がある。

k. 薬剤師ワーキンググループ委員会(吉尾委員長)

薬剤師にソウル大会への参加を呼びかけており、現在把握しているところでは50名ほどが参加する見込みになっている。また、ソウル大会でも現場の薬剤師の要望を聴く機会を設ける予定である。

1. 統合失調症ガイドライン作成タスクフォース(石郷岡議長)

- 1) 2015年度年会において統合失調症ガイドラインが発表され、概ね好評である。
- 2) ガイドラインの書籍化について、現在進行中であり、日本精神神経学にて販売予定である。

m. Nomenclature ワーキンググループ委員会(内田委員長欠席により山脇国際学術委員長)

- 1) 2015年5月16日に開催されたNeuroscience-based Nomenclature (NbN) タスクフォース会議(カナダ・トロント)、8月29日同会議(オランダ・アムステルダム)に内田委員長が参加した。
- 2) 1-2か月に1回開催される電話会議に委員長が参加している。
- 3) ワーキンググループがECNPと連携しNbN日本語版を作成し、同アプリが無料で入手可能となった。
- 4) 新たな薬剤をNbNに掲載するに当たり、本邦で使用可能な薬剤に関する情報を提供し、作成の一翼を担っている。
- 5) NbNに関する告知を日本神経精神薬理学雑誌に投稿し、2016年6月号に掲載予定である。
- 6) 2016年5月にアトランタ、9月にウィーンで開催されるタスクフォース会議に参加予定である。

n. 薬事委員会(渡邊委員長欠席により石郷岡理事長)

ラモトリギンに関するステートメントの発表や自動車運転に関する検討などの活動が報告された。

o. 利益相反マネジメント委員会(石郷岡理事長)

前回の理事会で本委員会発足が承認され、現在、委員の選定を進めていることが報告された。

4. 第45回年会(第37回日本生物学的精神医学会年会との合同開催)開催報告(武田前大会長)

- 1) 参加者は775名。日本生物学的精神医学会と連携し滞りなく開催できた。
- 2) 収支はほぼ予算どおりとなった。
- 3) 不必要な経費を削減し、生じた余剰金について両学会への返納金とした。

5. 第47回年会(第39回日本生物学的精神医学会との合同開催)準備状況報告(久住理事)

以前は次期大会長が理事となっていたが、法人化によりできなくなったため、南次期大会長が不在となった。合同年会となる日本生物学的精神医学会の次期年会長である久住理事より以下の通り報告された。

会 長：南 雅文(北海道大学大学院薬学研究院薬理学研究室)

開催日：2017年9月28日(木) - 30日(土)

会 場：札幌コンベンションセンター

審議事項

1. 役員選挙について

橋本均総務委員より以下の通り報告された。

1) 選挙日程

- 4月14日(木) 被選挙人名簿確認書類の発送
- 5月6日(金) 被選挙人名簿確認書類の返信締切
- 5月20日(金) 予備選挙関係書類の発送
- 6月10日(金) 投票締切

7月 2日（土）第46回評議員会会場にて本投票・開票の実施

- 2) 所属先名称のない被選挙人について指摘があり、事務局より本人に確認することとなった。
また、書類発送の際に現役員について任期を付記したリストが必要であるとの指摘があり、名簿確認書類に同封することとなった。

2. 2015年度収支決算報告、2016年度収支決算、監査報告について

- 1) 2015年度収支決算報告につき、適切に処理し、会計監査を受けたことが報告された。2015年度当期収支差額は、19,107,606円であることが報告された。
 - 2) 公認会計士からの監査報告書が提示され、引き続き、松田監事からの監査報告がなされた。
- 以上、本理事会として提出された全ての会計書類に関して、異議なく承認がされた。

3. 2016年度収支予算案について

- 1) 2015年9月1日から2016年8月31日までの予算案について確認された。2016年はJSNP-CINP大会がソウルで開催されるため、振興基金事業予算を770万円として計上されており、ここからソウル大会への参加支援として支出していくことが承認された。
- 2) 収入合計66,115,600円、支出合計72,590,600円、収支差額△6,475,000円となっていることが報告された。

4. 編集委員会からの審議事項について

- 1) 投稿規程について、電子化の時代にそぐわない内容があり改訂したことが報告され、議論された。英文投稿票の全面英文化などの要請があり、また、特に利益相反に関する点について管理の必要など議論があった。利益相反については、その取扱いについて別途、執行委員会あるいは利益相反マネジメント委員会にて案を作ることになった。
- 2) 日本神経精神薬理学雑誌の今後のあり方について
ワーキンググループを発足し検討してきたことが報告された。本学会誌は歴史も古くPubMedにも掲載され貴重な情報発信の場でもあるが、昨今の財政状況や原著論文の投稿が少ない現状から、学会誌のあり方について検討してきたことが報告され、以下のように提案があった。
 - a) ニュースレターを年4回程度学会ホームページに掲載する。
 - b) 学会誌を年1回発行に縮小し、オンライン化する。
 - c) 以上により編集委員会業務が軽減されるため、広報委員会と統合する。
 - d) 以上の内容について、会員へのアンケートを実施する。

提案内容について、年1回に縮小した際の掲載内容について、オンライン化した場合の掲示法、PubMed掲載との関係、編集費用の削減効果、年会費との関係など様々な議論があり、精査した上でワーキンググループで検討し、会員アンケートの内容についても再検討することとなった。

5. 統合失調症ガイドライン作成タスクフォース

- 1) ロゴマークの使用について
書籍化される統合失調症薬物治療ガイドラインについて、出版にあたりその表紙に本学会のロゴマークを入れることが提案され、承認された。
- 2) ガイドラインの効果検証研究について
昨年完成したガイドラインについて、その普及のために、特に若い精神科医を対象に講習会を行うこと、またその講習会の効果を科学的に検証することで、持続的な普及に役立てたいとの提案があった。講習会については、その効果が不明であることから、試みに1年間実施し、その後の継続についてはその結果をみて再度検証することとなった。

6. 名誉会員・功労会員推戴の件

- 1) 現状の規定により、以下の通り候補者が報告された。
名誉会員：齋藤利和、鈴木 勉、武田雅俊、仲田義啓、中村 純、山本経之、油井邦雄、米田幸雄
功労会員：朝倉幹雄、小野秀樹、川口 武、川口 充、高田孝二、高橋正克、宮本政臣、村井繁夫、山寺博史
- 2) 名誉会員・功労会員の規定について、第1項に「特に功績のあったもの」の目安は、理事長、

会長経験者あるいは理事・監事を2期以上務めた会員で、特に本会の発展に寄与した者とする。」とあるが、法人化に伴って役員の任期が1期4年だったところが1期2年となったため、任意団体であった当時の規定のままであると1期の期間が短くなり不公平であるとして議論になり、4期以上として改訂することとなった。これにより、中村純、油井邦雄両先生については功労会員として推戴することとなり、ご意向を伺うこととなった。

6. 新評議員の承認の件

以下の24名が推薦され、審議の結果、新評議員として評議員会へ推薦することが承認された。

(敬省略)

内田裕之 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

平井宏和 (群馬大学大学院医学系研究科) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

田中謙二 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

服部信孝 (順天堂大学医学部神経学講座) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

本多 真 (東京都医学総合研究所精神行動医学研究分野) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

渡部文子 (東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター神経科学研究部)

推薦: 石郷岡純/池田和隆

大塚稔久 (山梨大学・大学院総合研究部・生化学講座第1教室) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

小泉修一 (山梨大学医学部薬理学講座) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

松本光之 (アステラス製薬研究本部神経科学研究ユニット) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

福田謙一 (東京歯科大学口腔健康科学講座障害者歯科・口腔顔面痛研究室)

推薦: 石郷岡純/池田和隆

岡本 仁 (理化学研究所・脳科学総合研究センター) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

松田哲也 (玉川大学脳科学研究所) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

寺尾 岳 (大分大学医学部精神神経医学講座) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

新井 誠 (東京都医学総合研究所精神行動医学研究分野統合失調症プロジェクト)

推薦: 石郷岡純/池田和隆

松元健二 (玉川大学脳科学研究所) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

新井哲明 (筑波大学医学医療系臨床医学域) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

小出 剛 (国立遺伝学研究所マウス開発研究室) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

戸田裕之 (防衛医科大学校精神科学講座) 推薦: 井上猛/清水邦夫

須田史朗 (自治医科大学精神医学教室) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

鷺塚伸介 (信州大学医学部精神医学教室) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

松永寿人 (兵庫医科大学精神科神経科学講座) 推薦: 井上猛/池田和隆

矢部博興 (福島県立医科大学医学部神経精神医学講座) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

土井永史 (茨城県立こころの医療センター) 推薦: 石郷岡純/池田和隆

宮本嘉明 (富山大学大学院医学薬学研究部) 推薦: 池田和隆/新田淳美

なお、現時点で評議員は244名であり、定款に定められた300名に達することが懸念されるため、拡充について検討することとなった。

7. 新入会希望者承認の件

2015年9月1日から2016年3月31日までに、正会員61名、学生会員39名、評議員1名計101名の入会申込があったことが報告され、全員が承認された。

8. 第48回年会(2018度)について

第48回年会会長は、12月4日付の持ち回り理事会にて、中込和幸理事に決定したが、開催形式について検討された。非公式ではあるが、日本生物学的精神医学会(以降:BP)と日本神経化学会(以降:NC)より合同年会について提案があるが、日本臨床精神神経薬理学会(以降:CNP)との合同年会を望む声があるとのことで議論となった。

CNPが合同年会ではなく同時開催を希望していることから、同時開催による弊害を鑑み、CNPにはあくまで合同年会を提案し、いずれにしろ、BPおよびNCと合同で開催する方向性が認められ、中込次々期会長に委ねられることとなった。

9. AsCNP2019 の日本での開催について

AsCNP2019 が日本で開催されることから、CNP との合同年会あるいは何らかの協力があるべきとの意見があった。

平成 28 年 4 月 10 日

一般社団法人 日本神経精神薬理学会 理事会

議長 代表理事 石郷岡 純

出席理事 池田 和隆

出席理事 加藤 忠史

出席理事 久住 一郎

出席理事 須原 哲也

出席理事 曾良 一郎

出席理事 武田 弘志

出席理事 中込 和幸

出席理事 新田 淳美

出席理事 橋本 謙二

出席理事 橋本 均

出席理事 橋本 亮太

出席理事 古屋敷 智之

出席理事 吉岡 充弘

出席監事 齋藤 利和

出席監事 松田 敏夫